

ところが、あまりに順調すぎたため、いつもの事ながらさっそく順路変更して淡路島にある安藤忠雄氏が設計した本福寺水御堂へたちよりました。



平安時代後期に創建されたという真言密教の寺院。水御堂は新しい本堂として建替えられました。屋根の部分は長径40m短径30mからなる池になっています。

池の下に本堂があり、ここは淡路四国第五十九番霊場としても知られています。



緩やかなアプローチに沿って本堂へ向かいます。



大きな池の下に本堂はあります。



池の真ん中にスリットのように切り込まれた階段を降りて本堂に向かいます。